

送信者： “天海のつぶやき” <magazine@tenkai.biz>  
件名： おかしなヤマっ気不要【待望すること】 天海源一郎  
日時： 2018年1月8日

---

天海源一郎です。

明日（9日）から東京株式市場では立会いが再開されます。

新年になって4日と5日の2日間しか  
株式市場が開いていませんので、

その意味では「実質的なスタート」と言えそうです。

ご存じのように私は  
このメルマガで

「今年の日経平均は幾らになりそう」

ということを書いていません。

有料情報やセミナーの場では話をしていますが、  
それほどの分量や時間を割いているわけではありません。

もっとも重要視していることではないのです。

投資家の皆さんならおわかりいただけると思います。

仮にその数値を予想したからといって、  
それはあくまでも予想です。  
「不測の事態」や「思った以上のこと」も起こり得るのです。

（当然のことです）

（大事なのはここからです）  
仮に2018年が終わって、その予想がキレイに的中したからといって、

そもそも株式投資は  
日経平均の予想の的中を基に取り組むものではないのです。  
勝手に予想をし、勝手にその確度を決め、  
それに沿って、わき目もふらずに邁進していくものではないのです。

従って、年頭の日経平均予想は  
その細かな数字に意味があるわけではなく、

「短期的な方向」をイメージするものと考えます。

現在、というかもう昨年秋から「方向」については疑問がありません。

後はその都度「勢い」を見ていくのです。  
投資家が資金を投入する「銘柄」を見ていくのです。

(注意1) 「方向に疑問が無い」とは「株価が下がらない」という意味ではありません。

(注意2) 投資家とは個人投資家を意味しません。  
主には外国人投資家です。

株価が上がったって、  
自らが大きな儲けを得ないと意味がないのですから・・・。

現実的に利益を上げていくとなると、  
私がここまで書いたような考え方になると思います。

ここでは

////////////////////////////////////

「市場は何に反応しているのか？」

////////////////////////////////////

をもう一度考えていただきたいと思います。

昨年、2017年をまるで「一年を通して強かった」という  
印象をもっている人もいることでしょう(困)

それはまったく違います・・・  
目立って強くなったのは秋からです。

それまで、とくに春先は弱気の見方が多くありました。

(「見方」ってその程度のものです)

私は、この2018年は「おかしなヤマっ気」は必要ない年になると考えています。

しかし、「ゆっくり」「じっくり」などと言って、ボヤボヤしてはならないのです。  
(私はそういうことを意図していません)

+++++

「攻めるのみ」です

+++++

(ヤマっ気とは違いますよ)

一年を通すと、必ず波乱があります。

一気に弱気に傾く時です。

曲り屋が「カラ売り」をしてきます。

そして踏まされちゃってくれるのです。  
(昨年、何度このフレーズを用いたかわかりません)

すでに日経平均はこの四半世紀、位置したことがない水準にあります。  
戻り売り圧力が小さいことは言うまでもないです。

そうなる・・・

期待したくなるのは・・・

なんと！

+++++

曲り屋の空売り

+++++

ということになります。  
そういうのを呼び込む局面をこそ待望しています。

今年も昨年に続き、彼らには  
「壮絶な最期」を遂げてもらいたいと思います。

====☆天海のつぶやき☆=====

◇ 発行：天海源一郎

◇ <http://www.tenkai.biz/>  
(メルマガの登録・解除はここから)

◇ [info@tenkai.biz](mailto:info@tenkai.biz)←天海へのメールはここから

天海源一郎のfacebookはこちら

◇ <https://www.facebook.com/tenkai.genichiro>  
(「メルマガ読んでます」とメッセージをいただければ  
すぐに友達承認させていただきます)

転載厳禁

=====

相場観を持っていきましょう！